

次世代機能性食品

日時 : 平成28年4月7日(木) 13時30分～

会場 : 芝パークホテル 別館2階 <港区芝公園1-5-10>

参加費 : ￥16,200-(税込) 食品ニューテクノロジー研究会 会員企業は無料

【座長:】 荒井綜一 氏 東京農業大学 総合研究所 客員教授

国家プロジェクトSIP(農水省/内閣府)は3年目を迎え、活発に推移している。昨年(H27)の4月例会では、その概要を東京大学の阿部啓子名誉教授と佐藤隆一郎教授に紹介していただき、大変な好評を得た。本年の例会では、その各論を2人の気鋭の学者に解説していただく。このSIPは、食品因子による脳の認知(コグニション)機能活性化と身体の動き(ロコモーション)改善を大きなテーマとしている。小林彰子先生は、レモンハーブに含まれるロスマリン酸の認知機能の活性化研究、モデルマウスの β -アミロイド沈着の抑制効果、脳内作用機作、体内動態等の解析、さらにはヒト介入試験等を進めている。越阪部奈緒美先生は、チョコレート、黒豆等に含まれる難吸収性プロシアニジンの脳機能活性化・サルコペニア(筋肉退化)防止効果の研究を行い、摂取に伴って生じる効果のメカニズムの解析を実施している。ポリフェノール類の脳や筋肉への新規生理機能性の研究成果もお示しいただく。

【講演I】 13:40～14:50

認知症発症遅延に有効な天然食品の探索とその効果の検証 —とくにロスマリン酸について

東京大学大学院農学生命科学研究科 食の安全研究センター
准教授 小林彰子氏

厚生労働省によると2025年、本邦における認知症患者は700万人を超えると予測されている。認知症の半数以上がアルツハイマー病(AD)であり、ADは発症後の治療が難しいことから予防が重要。我々の研究グループは、天然食品成分の1つロスマリン酸によるAD予防・治療効果の可能性を見出した。本講演ではロスマリン酸に着目した経緯と、ロスマリン酸摂取後の体内動態および脳機能改善効果の解析について紹介する。

<プロフィール> 2001年大阪市立大学大学院生活科学研究科食品栄養科学専攻後期博士課程単位取得退学。同年高崎健康福祉大学健康福祉学部健康栄養学科契約博士研究員。02年高崎健康福祉大学健康福祉学部健康栄養学科講師、准教授。10年東京大学大学院農学生命科学研究科食の安全研究センター准教授(現職)

【講演II】 15:00～16:10

脳消化管軸を介したポリフェノールの生理作用の発現

芝浦工業大学 システム工学部生命科学科 教授 越阪部奈緒美氏

ポリフェノールの多くは生物利用能が極めて低いため、その作用メカニズムは不明であった。我々は最近ポリフェノールが消化管知覚神経を介して交感神経を一過的に刺激した結果、有益な作用を発現することを見出した。講演ではこれらメカニズム解明へのアプローチと期待される脳や末梢組織への新機能開発状況について報告する。

<プロフィール> 星薬科大学薬学部卒業。1984年明治製菓(株)入社。2009年芝浦工業大学システム工学部准教授。11年現職。
<研究分野: 著書など> 機能性食品学: ポリフェノール: 薬用植物および食品の機能成分「カカオポリフェノールの構造と機能」(CMC 出版)、機能性食品の安全性ガイドブック「ココア」(サイエンスフォーラム)など。

【座長まとめ】 16:10～16:30 【名刺交換会】 16:30～18:00

お問い合わせ先:

日本食糧新聞社 (食品ニューテクノロジー研究会) 中山清美
〒105-0003 東京都港区西新橋2-21-2 第一南桜ビル7階
TEL03-3432-4664 FAX03-3459-4654 携帯090-3146-7995

次世代機能性食品

食品ニューテクノロジー研究会

4月7日申込書

FAXで03-3459-4654までお申し込み下さい。

- ◇ お申込み後、請求書をお送りいたします。
- ◇ 受講票は発行していません。

会社名	
住所	〒
電話	
FAX	
お名前	部署／お役職

会場案内

芝パークホテル

〒105-0011
東京都港区芝公園1-5-10
TEL 03-3433-4141(大代



<http://www.shibaparkhotel.com/>

5月17日(火) 13:30~ アキバプラザ

『食品産業における知的財産の動向』

座長： 軽部征夫氏 東京工科大学 学長

講師： カゴメ(株) 西平 幹夫氏 / モリモト特許商標事務所 森本 敏明氏

◎ セミナー情報 <http://bit.ly/Ke3lf3>

◎ セミナー申込 <http://bit.ly/1cSZRck>

提供いただきました個人情報は、当該業務および当社からのご案内を目的として利用します。なお、個人情報を当該業務の委託に必要な範囲で委託先に提供する場合や関係法令により認められる場合などを除き、お客様の許可なく第三者に提供することはありません。